

書 評

NST 活動に今すぐに必携の書 ～完全型チーム医療実践をめざす教典～

〔評者〕 平田 公一

札幌医科大学教授 外科腫瘍学・消化器外科学／
日本静脈経腸栄養学会理事長

東口 高志 編

『JJN スペシャル』

「治る力」を引き出す 実践！臨床栄養

本書を読み終えてみると、さすが東口高志編とうな
らされた。同氏の高邁な精神性と教育力の高さを反映
し、気遣いの余白も実に適切、各ページの文字ととも
に説得力のある図や表の提示が、われわれを次のペー
ジを読みたいと掻き立てるのである。知識が感性的に
身につけやすい教育図書となっている。知らず知らず
のうちにのおおののページに向ける眼力にいっそう力
が加わってしまうという。そのような工夫が設定され
ている。また見事に多くの共著者陣として素晴らしい
専門家が並んでいる。

昨今、NST 活動へ評価は高く保険診療にも大きく
反映されたことは周知のことである。その質を支えそ
してチーム医療を向上させるにはもってこいの書であ
り、そして TPO を得た発刊ともいえる。多くの医療
従事者や教育担当者は日々の勤務の中で負担を背負い
つつ、努力による前進が成されている。その努力の結
果として、医療の原点ともいえる「ヒポクラテス医学」
の心と信念を日常臨床の場にその理念の導入とその普
及へとつなげようとする各種医療職の考え方にさらに
向上がみられる。そのような日本の努力の成されてい
る今日、本書による具体的で良質な臨床栄養学の次世
代も読んだ提案は、次への目標設定と励みを提供して
いると考える。ありがたいことである。

さて本書を一読した後の第一印象として、編者・執
筆者である東口高志先生と共著者の方々の医療への信
念が、読者である医療実践者に「ヒポクラテス医学の
心」をチーム医療の基本に置くべしとの理念を強く訴
えようとしていることが、一貫して伝わってくる。同
時に、「全く異質の新しい考え方を導入し、多くの医
療者にその体得と早期実践を」との要望も直感できる。
新しいチーム医療の在り方を知ってもらいたいと思
いが本書には込められている。学ぶ者に従順の姿勢の
重要性を訴え、「忠実に素朴に病状を観察しようとし
る姿勢の重要性」を勧めている。

共著者の先生方の今日に至るまでの多年にわたる経

験、特に消化器外科医や緩和医療あるいは広く臨床栄
養学での実践的苦労から得た熟考性、そして生来から
有する才能が、編者が求めた該博な企画の1つひとつ
に答える形となっており、それぞれの項目としての
『真髄』にしっかり触れた解説文と図が駆使され、
NST を担当する者の胸を強く打つ内容がいずれのペー
ジでも完結している。同時に厳格な雰囲気の中で、常
に努力せよとの、天の声とも教示的ともいえる表現が
一貫して各所に垣間見ることができる。患者を自然体
でみること、疑問に対しては学問をすることがいかに
大切かをも訴えている。未来のために想像する力、潜
んでいる既存の能力を導き出すとともに、臨床栄養学
とは何かの真髄を伝えようとする緊張感と熱気を込め
た心意気が伝わってくる。併せて医療者としての道徳・
哲学、医療者として身につけておくべきあたりまえの
礼儀・規律についても指導展開をしている。まずは、
臨床栄養学の知識整理、そして手工業的な技術への深
い理解を核心に設定し、私心をしりぞけ配慮、慎み、
威厳、平静、判断、清潔、知力、自由、忠誠などを勧
めている。若い医療従事者にわかりやすく解説するこ
とに配慮し、その中で人として豊かな関与をすべきこ
とも唱えている。このように医学教育指導者における
臨床栄養学の教育法
の在り方と今後の方
向性を広く示唆した
貴重な書と言える。
われわれに何が要求
されているのか、何
をすべきかを教えて
くれる名書である。



AB 頁312 2010年

定価 3,780 円(本体 3,600 円+税 5%)
ISBN978-4-260-01030-6 医学書院刊